

令和8年度 学校だより

令和8年9月 30 日

鳥が丘



10 月号

横浜市立鳥が丘小学校

見守りの中で育つ子どもたち

副校長 太田 智樹

朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。学校では前期のまとめの時期を迎え、子どもたちは学習や生活の振り返りを行いながら、後期に向けて新たな目標を立てています。

10 月には、前期の学習や学校生活の様子をお伝えする「あゆみ」をお渡しします。「あゆみ」は、子どもたち一人ひとりの学習の状況や学校生活の様子を記録し、これまでの努力や成長を振り返るためのものです。お子さんが学校生活の中で積み重ねてきた頑張りや、できるようになったことに目を向けながら、ご家庭でも一緒に成長を振り返っていただければ幸いです。

子どもたちは日々の学習の中で、できることが増える喜びを感じる一方で、思うようにいかず悩んだり、努力を重ねたりしながら成長しています。私たち教職員は、その過程を大切に見取り、子どもたちの頑張りを認めながら教育活動を進めてきました。ご家庭でも、ぜひ「あゆみ」をお子さんと一緒にご覧いただき、「よく頑張ったね」「こんなことができるようになったね」と成長を認める言葉をたくさん投げ掛けていただきたいと思います。こうした言葉は子どもたちにとって大きな励みになります。また、思うような結果でなかった部分についても、「後期はこうしてみよう」「一緒に頑張ろう」と、努力を認める言葉をたくさん伝えていただきたいと思います。「あゆみ」が子どもたちの新たな挑戦への意欲につながることを願っています。

さて、本校では子どもたちの安全を地域の皆様とともに守る取組として、「子ども110番の家」の活動を進めています。先日、協力していただいている皆様に、活動継続の確認と名簿整理を兼ねて往復はがきをお送りしました。これは、長年 PTA の校外委員会で管理されていた名簿を一旦学校で引き継ぐにあたり、実情に即したものに整備するために行ったものです。

返信を拝見すると、「我が子や孫が卒業した後も子どもたちを見守りたい」「地域の子どもたちのために協力を続けたい」といった温かい言葉が数多く寄せられました。改めて、鳥が丘小学校の子どもたちが、地域の皆様の深い愛情と善意に支えられていることを実感しています。

子ども110番の家は、何か特別なことが起こったときだけの存在ではありません。通学路や地域の中で子どもたちを気に掛け、「おはよう」「気を付けて帰ってね」と温かく見守ってくださる方々の存在そのものが、子どもたちの安心感につながっています。学校だけでは守りきれない子どもたちの安全を、地域全体で支えていただいていることに心より感謝申し上げます。

子どもたちの成長は、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様の支えによって育まれています。学びの面では「あゆみ」を通して成長を見守り、安全の面では地域の見守りによって安心して生活できる環境がつくられています。子どもたちの笑顔と成長のために、これからも学校・家庭・地域が力を合わせ、一人ひとりを温かく支えてまいります。

引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「横浜学校あんしん・あんぜん宣言」について

本市では、令和7年8月、教職員による不祥事を受け、「学校を安全・安心な環境にするための総合対策」を公表しました。その取組の一環として位置づけられている、コミットメント型啓発手法の展開である「横浜学校あんしん・あんぜん宣言」（以下「コミットメント宣言」）の実施をします。素案を掲載しますので、ご意見がありましたら副校長 太田までお電話ください。